

# 治療薬について

## 治療薬の種類

主に鎮痛目的.  
出来れば減量を.

1. 痛み止め(NSAIDs): ロキソニン, インフリー, モービック,  
セレコックスなど
2. 副腎皮質ステロイド: プレドニンなど
3. 抗リウマチ薬: リウマトレックス(メトレート), アザルフィシン,  
リマチル, プログラフなど
4. 生物学的製剤: レミケード, エンブレル, アクテムラ,  
ヒュミラ, オレンシア

骨を守る.  
大事！！



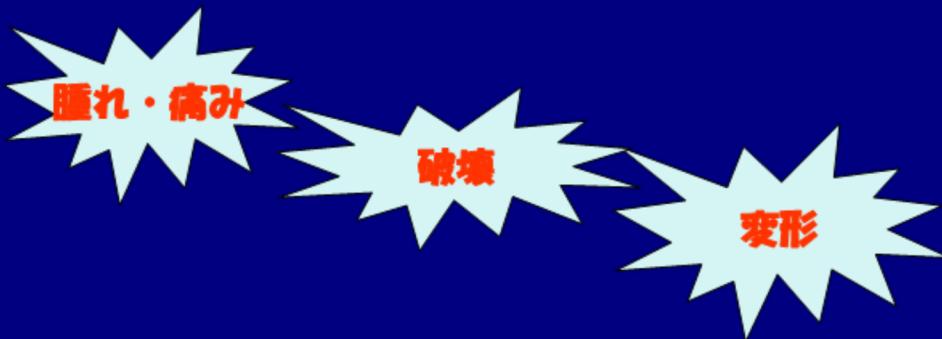
1. 痛み止め
2. 副腎皮質ステロイド には、速効性があります。
3. 抗リウマチ薬は、効果がでるまでに、1ヶ月以上かかる  
ことが多いので、治療開始時には、併用することが一般的です。

上記の治療で、コントロールが不十分の時には、  
4. 生物学的製剤を検討します。

# 生物学的製剤の注意点

## 関節リウマチの病態

リウマチの方では免疫の異常が起こっています。  
異物（自分以外のもの：細菌やウイルス、癌細胞など）を  
攻撃するはずの免疫システム、血液成分が、  
自分の組織、  
特に軟骨や骨などを攻撃してしまう状態です。  
攻撃により、関節の腫れ、痛み→破壊→変形を来します。



伊藤吉賢ほか、日本臨牀、2005;63(Suppl 1):96-99.一部改変

リウマチの治療薬はいくらか免疫をブロックすることになるため、バイ菌の攻撃に注意する必要があります。体の中で肺炎などがくすぶっていると、それが再燃することが考えられるので、注意は必要です。

生物学的製剤を使用する前には、ガイドラインで検査の取り決めがあります。

肺炎  
結核  
B・C型肝炎 } などの  
チェックのため →→→ 胸部レントゲン  
血液検査  
などを検査します。

癌の治療中の方、高度的心不全の方は使用できません。